

この山に登ろう⑩

じっぽうさん

十方山 1318.9m

安芸太田町



1152 m峰付近

広島県山岳連盟 事業部長 **松島 宏**

広島県内第3位の高峰です。^{おそら かんざん}恐羅漢山の南に位置し、大きな山容と草原状の頂上からの眺望が素晴らしく人気の山です。登山ルートは4本。健脚向きには①南からの廿日市市の吉和、^{たていわ}立岩ダム上部からの標高差約800mの

瀬戸の滝（南尾根）ルート。②北側の水越林道、水越峠からの獅子が谷ルート。③北東の内黒峠からの内黒（北東尾根）ルート。④内黒峠の南の那須集落から登る那須ルート。このうち①と②のルートについて説明します。



写真1：内黒峠からの稜線

写真2：丸子頭付近

写真3：論所の沢



写真1



写真2



写真3

①瀬戸の滝ルート

広島県内の山で最も標高差のある瀬戸の滝コースの往復が自然林100%でお薦めです。しかし、標高差800mの往復はある程度の体力が必要です。この瀬戸の滝コースは県内でも私が最も好きなコースのひとつです。新緑の春や紅葉の秋、素晴らしい自然が満喫でき、標高差800mゆえの達成感と頂上からの360度の眺めの良さは格別です。健脚コースですのでいつかはチャレンジしてみてください。登山口は立岩貯水池の上流部。戸河内から県道296号、立岩ダム経由で入るか、廿日市市吉和の女鹿^{めがひら}平スキー場から入る2コースです。いずれのコースも道が狭いので注意してください。登山口は標高510mです。700mまでは尾根を一気に登っていきます。トラバースが始まり標高760mで主稜線から西の谷筋に入ります。934mピークの北の主稜線に戻り、1030mの小ピークまで一気に登ります。谷筋から小ピークまでのブナ、ミズナラ等の自然林は本当に素晴らしい！の一言です。癒されます。小ピークから下りた鞍部からは急登が2段階あり笹のなだらかな頂上稜線に出て行きます。遭難慰霊碑を左に見てしばらく進むと三角点のある頂上です。強い人で2時間半から、普通で3～4時間はかかります。

②獅子が谷ルート

次のお薦めは恐羅漢山スキー場の二軒小屋^{にけんこや}駐車場に車を置き、藤本新道^{まるこがしら}から丸子頭を経て十方山、獅子が谷ルートを下り、一周してくるコースです。標高差450mです。ス

キー場で恐羅漢山荘を経営されている藤本さんが自分の植林の尾根に登山道をつけて下さいました。横川^{よこがわ}川沿いの一歩下の大駐車場に車を置きます。トイレもあります。二軒小屋橋を渡り内黒峠に向かう林道を500m峠側に登った所が藤本新道登山口です。看板があります。内黒峠からの主稜線まで急な登りです(写真1)。約40分かかります。カサゴヤのキビレ(鞍部)から100m西に出ます。1152mのピークを越え、丸子頭のピークまで約40分。1152mピークのブナ林は私のお気に入りの美しい森です(写真2)。丸子頭の三角点も伐採され踏めるようになりました。前、中、奥の三ツ倉と呼ばれるピークを三つ越え、下りたところが論^{ろんしよ}所(写真3)。ブナ林の中に湧き水と小さな川があります。広島県で最も高い所にある水場です。丸子頭から1時間半で三角点と大きな頂上標識のある頂上に到着です(写真4、5)。晴れた日は瀬戸内海と四国、日本海、大山まで見渡せます。瀬戸内海が余りにも近いのにびっくりします。水越峠の獅子が谷登山口までは北に向かい、荒れた石ゴロゴロの登山道を1時間下りる(写真6)と獅子が谷登山口に出ます。ここから北東に荒れた林道を40分下りスタートした二軒小屋の駐車場に到着します。

北の恐羅漢山(標高県内1位)はスキー場が古くから開発され北側にしか自然は残っていません。十方山は西に位置する吉和冠山(標高県内第2位)と同様に自然の沢山残ったいい山です。(まつしまひろし)



写真4：頂上



写真5：頂上直下でヒキガエル発見



写真6：シシガ谷を下る